

経営に関する最新情報をお届けします！

経営トピックス

Management topics



事業継続計画(BCP)を作りましょう
～平時の業務効率改善にも役立つ～

町田市経営診断協会 新井 一成 (中小企業診断士)

に事業継続計画を作って、これからのリスクに備えましょう。

●BCPの基本

BCPの基本構造は左図のようになります。「基本方針」の中では、特に①従業員の安全確保は従業員とその家族の安全まで配慮する必要があります。また②の顧客の事業継続については、直接の顧客だけではなく、地域や顧客の顧客まで考慮することが重要になります。

最後に、平時の訓練などを通じて運用定着を図り、また不十分な点を見直しを行います。

●BCPの単作成法

このようなBCPをゼロから作ることは大変そうに見えますが、中小企業が提供する「中小企業BCP策定運用指針」を活用すると、比較的簡単に作成ができます。

BCPの基本構造

基本方針

- ①従業員の安全確保
- ②顧客の事業継続(地域・社会)
- ③サプライチェーン対策
- ④資金繰り

被害想定

地震/風水害/感染症

商品サービス提供対策

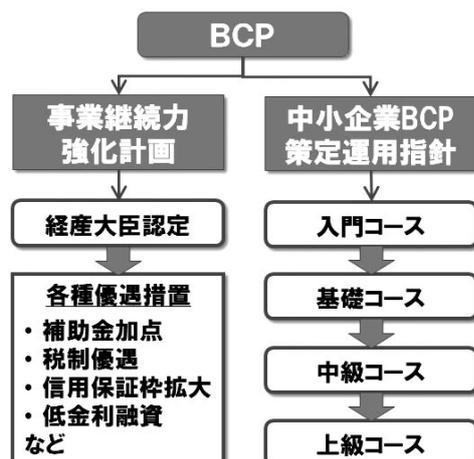
緊急時の体制

運用・定着・見直し

被害想定では、自治体等が作成しているハザードマップ等を参考に、自社に及ぶ被害を考え、自社の商品やサービスを継続するための対策を作りまします。特に、顧客や社会にとって、必要不可欠な商品やサービスを優先的に提供できるように計画を立てます。

緊急時の体制は、経営トップをリーダーとした緊急体制を決めて、状況把握と対策指示を一貫して実施できるようにします。

経費削減につながりました。
事例②…複数部門の従業員を集めてBCP作成を行ったところ、平時の部門間コミュニケーションが活性化し、業務効率が改善されました。



●事業継続力強化計画

なかなか本格的なBCP策定に取り掛かれない場合には、事業継続力強化計画によって、現状から一歩進んでみることをお勧めします。

事業継続力強化計画では、被害想定に対して、自社の現状の対策を確認し、まず何をすべきかを決定します。例えば従業員の安全確保のために、避難経路を確認したり、緊急連絡網を作ったりすることも、その一歩となります。

事業継続力強化計画は4枚程度の計画書で作成でき、この計画を経産省で認定してもらえると、各種の優遇措置や補助金の加点を獲得することができます。ぜひ活用を考えてみて下さい。